

# 田園理想郷 時代

No. 11  
2022.2.1



太郎地区にある築100年以上の古民家。太郎農村交流施設としてリノベーションされ、ゲストハウス『ゆびとや』としてオープンします。宿泊の他、イベントやワークショップなどご利用されてみてはいかがでしょうか。



太郎農村交流施設

ゆびとや

12月定例会	2
一般質問	3~5
総務文教常任委員会・産業振興常任委員会	6
子ども議会・バンドフェスティバル	7
10人からのメッセー辞	8
全員協議会・議会の動き	9
ぼいす・編集後記	10



# 安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための意見書を国に対して提出

12月定例会は11日間の日程で開催され、条例制定1件、条例改正3件、補正予算1件、専決処分2件、議員提出の意見書1件などが審議され、いずれも原案通り決定しました。

## ■条例

・川場村行政財産使用料条例

川場村行政財産の使用料を明確化するもの

(全員賛成)

・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

令和3年12月に支給する村長の給料について、給料月額100分の10を減額する規定の追加によるもの

(全員賛成)

・川場村国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額について、産科医療保障制度の掛金が引き下げられたことにより、出産育児一時金40万4千円を40万8千円に引き上げ、支給総額を維持するもの

(全員賛成)

・川場村下水道条例の一部を改正する条例

川場浄化センターに処理能力を上回る汚水が流入しており、処理能力の増加を図るため、料金改定を行い、維持するもの

(全員賛成)

## ■補正予算

・令和3年度川場村一般会計補正予算(第5号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2603万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ46億2193万1千円とするもの

(全員賛成)

## ■専決処分

・令和3年度川場村一般会計補正予算(第4号)  
愛郷ぐんまプロジェクトと連携した地域クーポン券等の付与事業費補助金の交付を受け、観光誘客促進事業を実施するため、専決処分したもの

(全員賛成)

・令和3年度川場村水道事業特別会計補正予算(第2号)

水道台帳の誤記により、新たに水道管の埋設が必要となったため、専決処分したもの

(全員賛成)

## ■陳情

・安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める陳情書

安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るため、国に対して意見書の提出を求めるもの

(全員賛成)

## ■発議

・安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための意見書

国に対して意見書を付けて内閣総理大臣ほか3名に提出するもの

(全員賛成)



飯塚 貞次

# 社会経済情勢も変革しようとする中 川場村議会の議員の定数どうなる？

**飯塚議員** 川場村議会の議員の定数は、平成19年に12人から10人へと削減され、現在に至っています。削減された理由は、人口の減少や行財政改革によるものも伺っています。今後も人口の減少が見込まれる少子高齢化社会に向かう中で、社会経済情勢も大きく変革するものと考えています。

このような中で、川場村議会の議員の定数について、どのような考えをお持ちですか。

**村長** 地方議会では、近年議員のなり手不足が指摘されていて、定数に満たなく再選挙が行われる地方自治体もあります。本村においてもその可能性を否定するものはありません。

県内の町村議員の平均年齢は64歳で、60、70歳代で73%を占めている現状があります。60歳未満の議員が少ないことは、働き盛りの方にとって参画したくてもできない現実があると思われまます。これらを改善するには、議員の処遇改善や議会の在り方も現代社会の実情に合わせて見直しも必要ではないかと感じています。

また、人口減少を踏まえながら、議会の存在意識を十分に発揮するようにしなければならぬとも考えます。

議員定数にしましては、第一義的に議会において十分な議論により方向性を示し、村民や関係者との議論により決定されるものと理解をしています。

## ■飯塚議員

見直しの時期等について、村長の考えはいかがでしょうか。

## ■村長

議員皆様に議員協議会等々、十分議論をしていただくということはもちろんですが、この次の改選が来年になりますが、その頃が1つの時期ではないかと考えています。



# 村政を問う 一般質問





## 令和3年度 第1回川場村子ども議会

令和3年11月19日（金）

### 未来の川場村を支える中学生議員が村政を問う

子ども議会の目的は、議会の仕組みや運営方法を体験して理解を深めること、そして今後の村を担う中学生の視点と発想に基づく村づくりのための考えを、村政運営に取り入れようとするものです。



今回出席した中学生議員は27名。執行部と議会事務局職員も出席し、現実の議事進行方法に沿って日程が進められました。外山村長と角田文雄議長のあいさつの後、6名の議員から質問がなされました。

中学生ならではの視点からの提案は、村づくりに直結するものばかりで、大変感心し、その上、年々質問レベルの向上に驚かされてます。

## 第40回 全日本小学校バンドフェスティバルの激励

開催日：令和3年11月20日（土）

場所：大阪城ホール

今年も大阪城ホールにおいて全日本小学校バンドフェスティバルが開催されました。連続10回目の出場を果たした川場小学校金管バンド「川場キッズ」の子ども達のために議会から角田文雄議長と黒田まり子総務文教常任委員長が激励に伺いました。

この大会のために毎日遅くまで練習を積み重ねた子ども達、総勢22人と少人数ながらも他の学校に負けない迫力で演奏してくれました。



## 総務文教常任委員会

### 陳情を審査 1件を採択

安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見を求める陳情書について、審査いたしました。

本陳情の趣旨は、新型コロナウイルスによる感染拡大は、経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼし、医療をはじめとした社会保障や福祉体制の脆弱さを鮮明にして、国民の命と健康が脅かされる事態が広がりました。

この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症対策を中心に担う公立・公的病院の役割の重要性、感染症病棟や集中治療室の大幅な不足、医師、看護師、介護職員の人員不足、保健所・保健師の不足などです。

コロナ禍において、私たちは医療・介護・福祉をはじめとした社会保障の重要性を経験しました。国民のいのちと健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染症や大規模災害などの事態に備えることが国民に対する喫緊の課題となっております。

国民が安心して暮らせる社会を実現するために国に対する意見書を提出していただきたいという内容の陳情であります。

なお、この陳情趣旨と同様の陳情書が令和2年12月にも提出されてお

り、引き続き陳情をしていきたいとのことでした。

#### 審査を行った結果

- ・安全・安心の医療介護・福祉提供体制を確保すること。
- ・保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師等を大幅に増員すること。
- ・社会保障・社会福祉にかかわる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減すること等の意見が出されました。

本委員会では、慎重な審査の結果、全会一致により採択とし、決定いたしました。



## 産業振興常任委員会

### 村内の陳情個所事業実施状況調査を実施

過去5年間陳情個所を確認し、実施済が11か所あり、残り14か所については危険度、費用対効果等を考慮し、予算の付き次第着手していきたいと担当課長の説明でした。



川場村議会には10名の議員がいます。このコーナーでは各人の近況や主張などをお届けします。メッセージの内容にはあえて公私の垣根も設けず、ジャンルも規定しません。少しでも身近に感じていただければ幸いです。

# 十人十色、 思いは カラフル。

## 津久井俊雄

第6波のコロナ禍の報道に心身が疲れ、自粛した冬ごもりが続いている。それでもお正月でほんのり和らげられて、いよいよ大寒に入った。漬け込んだ白菜やタクアン等、漬物の封切である。筍、キュウリ、なす、みょうが、梅は生のまま塩漬。葉菜類、インゲン、栗などはさつと茹で業務用冷凍庫の中。ねぎ、大根、人参、ジャガイモ、玉ねぎは米袋に入れ倉庫で越冬。寒風にさらした切り干し大根、鷹の爪は網袋で軒につるした。これは戦前戦後食糧難を経験した老婆の知恵。3密、消毒を徹底し、今年こそコロナ禍を克服してよい年に。



## 小菅秋雄

最近、山林や庭木の松枯れが目立ってきている。原因はマツノマダラカミキリの幼虫マツノザイセンチュウが木の中に入り込み養分を吸い取る結果だそう。対処法は薬剤注入・薬剤散布しかないようである。今から40・50年前では庭先にあてやかなダリヤの花が咲き誇っていた時期があったがそれもいつしか消えてしまった。次はどんな木や草花が無くなっていくのか心配である。



## 飯塚貞次

今年の干支は「寅」です。自身6回目の干支を迎える事になります。コロナ禍の世の中ではありますが、年をとってもそれなりに「とらーい」し続けたいと思っております。



## 丸山敏雄

年末から降り続いた雪は、元旦の風景を白銀の世界へと変えてくれた。昨年はコロナ感染症の間を縫って東京オリンピック、パラリンピックが開催され人々に夢と希望と感動を与えてくれた。また、変化を遂げたオミクロン株が世界の人々に不安を与えている。今年はこの困難を克服し不安のない足掛かりの1年になるよう期待している。



## 星野孝之

ハロ12022年 生まれてもうすぐ半世紀。何かに夢中になって、自分の理想を追い求め続ける。そんな人生を過ごせたら最高。人生はやりたい事をやり尽くすためにあると思う。川場村とともに成功とやりがい満ちた年になりますように。



## 黒田まり子

中国旧暦に基づく祝日の旧正月は毎年日付が違い、2022年の旧正月は2月1日にあたるようです。旧正月を中国は「春節」、韓国は「ソルラル」、ベトナムは「テト」お国柄で祝い方は違うけれど家族や親戚が集まって美味しいものを食べるところは日本と同じですね。2022年、世界中でコロナを気にせず暮らせるようにと願うばかりです。



## 新木敏郎

知人が売りに出していた土地が売れ、今夏にはN市から一世帯が移住する。元は桑畑だった土地が耕作放棄地となり、野菜畑で復帰。そして宅地へ。紆余曲折を経て変身した。「人間に限らず万事塞翁が馬」とつくづく思う。



## 角田文雄

1年間お疲れ様。自分なりに一生懸命働き、適度に遊び充実した1年でした。まだまだ寒い日が続きますが、コロナウイルス感染症や風邪などをひかない為にも、うがいや手洗い、マスクなどで予防して下さい。人間、健康であることが一番の幸せかなと思います。私は厚生労働省で掲げる「健康寿命」の年になりました。村民の皆さん、川場村を素晴らしいむらにしましょう。



## 角田宣治

冬の最後を締めくくる大寒も過ぎれば、立春を迎え春の始まりです。畑や田仕事の下準備も日増しに忙しくなる時期を向かえますが、冬眠中の身体にスィッチが入るのは、もう少し先なのかな。「天神城下の蛩舞」の栽培も、私案を分析し、目標をクリアしたいものです。



## 細谷市衛

53年ぶりの学校林防火線作業を川場中生徒と行いました。なつかしい思い出の中、作業ができて生徒たちも頑張りました。原木も立派な木になっており、今後も生徒たちが学校林防火線作業を経験し、思い出を残し立派に成長してほしい。心からお祈りしています。



田園プラザ ビール工房

## 川場村議会 全員協議会

令和3年11月30日(火) 全員協議会を開催し、村長・副村長・教育長及び担当課長から次のとおり事前に説明を受け、本会議ではこれらについて慎重に審議いたしました。

1. 職員の懲戒処分、村長の給与減額について
2. 太陽光発電施設の行政財産の使用について
3. 新型コロナウイルス対策第3回目のワクチン接種について
4. 庁舎建設の入札期間及び今後の日程について
5. 田園プラザビール工房の増築について
6. 水道事業特別会計補正予算の専決処分について
7. 川場村下水道条例の一部を改正する条例について
8. イングリッシュキャンプ事業の報告について

## 議会の動き

11月	1月
3日 新世紀記念事業タイムカプセル開封式 世田谷・川場縁組協定40周年記念講演会 総務文教常任委員会	3日 第5回議会定例会 総務・文教常任委員会 産業振興常任委員会
10日 川場田園プラザ取締役会	10日 第5回議会定例会(最終日) 議会広報特別委員会
15日 利根郡町村議会議長会定例会 利根沼田広域圏整備組合定例議員協議会 利根沼田学校組合議員協議会	14日 川場村健康づくり推進協議会
18日 議会運営協議会	5日 上毛新聞社新年交歓会 群馬県議会新春交流会
19日 第1回川場村子ども議会	8日 川場村消防団出初め式 川場村新年祝賀式
19日・20日 小学校バンドフェスティバル全国大会	9日 川場村成人式 どんど焼き
22日 上下水道運営協議会	13日 コロナウイルス感染症対策本部会議
24日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会定例会 沼田市外二箇村清掃組合定例会	14日 群馬県町村議会議長会理事会
28日 世田谷区・川場村 縁組協定40周年記念式典 及びシンポジウム	17日 議会広報特別委員会 利根郡町村議会議長会定例会 利根沼田広域圏整備組合定例議員協議会
30日 川場スキー場開き 全員協議会 第5回議会定例会(初日)	21日 川場中学校立志式 コロナウイルス感染症対策本部会議
12月	25日~27日 利根郡議長会県外視察研修(中止)
1日 川場村社会福協議会理事会	

# 川場村鳥獣被害対策実施隊の活動内容について

川場村鳥獣被害対策実施隊 隊長 **小林節雄**さん



川場村鳥獣被害対策実施隊は平成24年より、村内に生息する鳥獣による

豚コレラの流行により野生イノシシの数は減少しており、14頭ほどの捕獲となりました。

農林業等の被害を防止するために組織されました。実施隊は川場村猟友会に所属しており、第一種及び第二種（銃猟）の免許を持つ方であれば三年継続するか、わな猟の免許を持つ方であれば所属したときから村長の委嘱を請けることで、任命されます。隊員は現在20名ほどで、村長ご自身も実施隊として活動されています。

農作物を守るためには、実施隊の活動のみならず、地域住民の皆様の協力も不可欠です。電気柵、金網柵の設置を始め、追い払い用火などの対策や、狩猟免許を取る、という選択肢も考えてみてはいかがでしょうか。

主な活動は3月から11月にかけて、村内の農作物被害を防止するために罠等を仕掛け、ニホンジカやイノシシ、サルなどを捕獲します。

川場村のすべての方々が無事暮らせるよう、微力ながら奮励してまいりますので、なにとぞご理解、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度ではニホンジカが50頭、サルが20頭ほど捕獲されており、前年と比較



## お知らせ

### 議会を傍聴してみませんか



次回定例会は3月上旬です  
むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入場で名前と住所を記入していただくだけです。

問 川場村役場 議会事務局  
52-2111

川場村のホームページには議会のページを設けています。  
議会広報や議会会議録を見ることが出来ます。  
(川場村図書室でも閲覧できます)



## 編集後記

2022年の節分は2月3日です。節分は邪気を払い無病息災を願う行事ですが今年も「コロナ退散！」と大きな声で叫ぶ人が多いのではないのでしょうか。世界を覆うコロナ危機が早く終わる事を祈るばかりです。

二十四節気では節分が過ぎると立春から雨水へと変わりますが、川場村の2月はまだまだ厳しい寒さが続き体調を崩しやすい季節です。暖かくして笑顔で無病息災、立春以降に初めて吹く強い南風「春一番」楽しみに過ごしたいです。その頃には、陽だまりに福寿草が咲き出しているでしょうか。

(編集委員 黒田まり子)

## 議会広報編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 丸山 敏雄 |
| 副委員長 | 津久井俊雄 |
| 委員   | 黒田まり子 |
| 委員   | 角田 宣治 |
| 委員   | 新木 敏郎 |